

成田高等学校 放送部

岩手県高文連放送講習会 令和6年9月22日

岩手県高文連放送講習会

成田高等学校の紹介

明治31年 私立成田中学校の設立
昭和23年 成田高等学校
昭和42年 成田高等学校附属中学校
昭和48年 成田高等学校附属小学校

岩手県高文連放送講習会

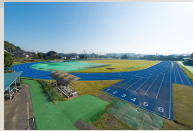
成田高等学校の紹介

平成10年
創立100周年
平成30年
創立120周年



岩手県高文連放送講習会

成田高等学校の紹介



岩手県高文連放送講習会

成田高等学校の紹介

【生徒】
高等学校 1041名 中学校 387名
【職員】
高等学校 58名 中学校 30名

岩手県高文連放送講習会

成田高等学校の紹介

【運動系部活動】

野球部 ソフトテニス部 陸上部 卓球部
バレーボール部 柔道部 剣道部 山岳部
弓道部 空手部 バスケットボール部 水泳部
サッカー部 ダンスドリル部 硬式テニス部

岩手県高文連放送講習会

成田高等学校の紹介

【文化系部活動】

物理部 化学部 自然科学部 美術部 書道部
音楽部 英語部 社会科学研究部 調理部 被服研究部
文芸部 新聞部 演劇部 写真部 華道部 茶道部
インターアクト部 **放送部** 軽音楽部 競技かるた部
将棋同好会 クイズ研究同好会 コンピュータ同好会
ルービックキューブ同好会

岩手県高文連放送講習会

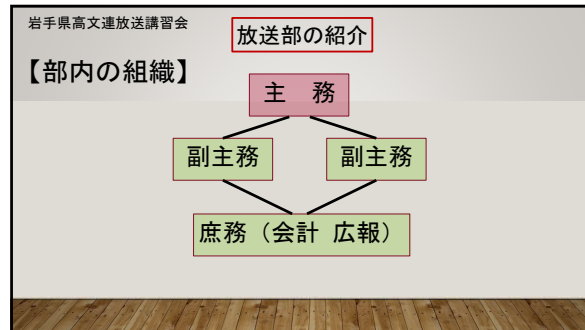
放送部の紹介

【部員数】高等学校 27名 中学校 13名

【活動時間】

月曜～金曜 15時20分～17時30分
土曜 13時～15時





岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【活動内容】

- お昼の校内放送（15分）
- 学校行事の放送担当 放送部春合宿の運営
- 文化祭「野球応援特集」制作
- 卒業式前「スクールメモリーズ」制作
- 読み班 発声練習 テキストで練習
- 番組班 取材 編集

岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【発声練習内容】

- れろ、れろ、れろ の繰り返し
→ 下回り と 母音 の強化
- おはようー
→ 腹式強化 太い声を作る

岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【活動内容】 ○外部依頼

- 3月 付属小学校イベント
- 4月 成田太鼓祭 ANA未来ステージ
- 6月 音楽部定期演奏会
- 7月 成田祇園祭

岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【活動内容】 ○外部依頼

- 10月 公津フェスタ ステージ
- 11月 成田花火大会ボランティア
- 12月 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 1月 成田山正月奉仕活動

岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【活動内容】 ○外部依頼

- ・ 関東高等学校バレーボール大会
- ・ 千葉テレビと共同で番組を制作
- ・ 成田市記念式典
- ・ 地元の夏祭り

岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【活動内容】 ○コンテストへの参加

- 6月 NHK杯高校放送コンテスト
- NHK杯中学放送コンテスト
- 11月 千葉県高文連放送コンテスト
- 12月 テレQアナウンスコンクール

【活動内容】 ○コンテストの記録 令和5年

- ・第70回NHK杯千葉県大会 朗読部門 最優秀賞 アナウンス部門・研究発表部門 優秀賞
- ・第70回NHK杯 全国大会 特別企画「私たちの街・学校のSDGs」で SDGs賞
研究発表代表校に選出（NHKホールで発表）
- ・第40回NHK杯中学校放送コンテスト千葉県大会 アナウンス・朗読・番組部門で全国大会
- ・第47回全国高等学校総合文化祭 かがしま大会 ビデオメッセージ部門 優秀賞
- ・第36回千葉県高文連放送コンテスト アナウンス部門・朗読部門・AM部門 優秀賞
レッドクロス部門 優良賞
- ・第21回関東地区高校放送コンクール アナウンス部門 最優秀賞 朗読部門 優秀賞
- ・第3回テレQアナウンスコンクール（テレQ福岡本社）決勝大会に出場

【活動内容】 ○コンテストの記録 令和6年

- ・第71回NHK杯千葉県大会 アナウンス部門・朗読部門ともに最優秀賞
アナウンス部門 優秀賞 番組部門 奨励賞
- ・第71回NHK杯 全国大会 朗読部門準決勝進出 入選
- ・第106回全国高等学校野球選手権千葉大会開会式 司会担当
- ・NHK千葉放送局コールサイン担当
- ・第48回全国高等学校総合文化祭 岐阜大会 アナウンス部門出場 ブロック3位
- ・第41回NHK杯中学校放送コンテスト千葉県大会 アナウンス・朗読部門で全国大会
- ・第41回NHK杯中学校放送コンテスト 全国大会 アナウンス・朗読部門で決勝大会に進出
朗読部門 優良賞 アナウンス部門 入選

岩手県高文連放送講習会

放送部の紹介

【活動記録】
アナウンス部門 高2 松野 夢羽

「Soul of Asahi」

第21回関東地区高校放送コンクール 最優秀賞



【活動記録】
アナウンス部門 高1 野上 翔吾

「子ども食堂のわ」

第20回関東地区高校放送コンクール 優良賞



【活動記録】
アナウンス部門 高2 野上 翔吾

「ボランティアとつながる科学館」

第21回関東地区高校放送コンクール 出場



【活動記録】
朗読部門 高2 富田 凛

「吉本ばなな作
ふなふな船橋」

第21回関東地区高校放送コンクール 優秀賞




【活動記録】 ○作品の紹介
朗読部門 中2 小松 愛佳

「黒柳 徹子作 窓際のトットちゃん」

第41回NHK杯全国中学校放送コンテスト 優良賞




【活動記録】 ○作品の紹介
ビデオメッセージ部門

「鰻の“手”」

第47回全国高等学校総合文化祭 優秀賞



【活動記録】 ○作品の紹介
オーディオメッセージ部門

「軽便は、どこまでも」

第35回千葉県高文連放送コンテスト



【活動記録】 ○作品の紹介
創作テレビドラマ部門

「ライスマークイデオロギー」

第61回NHK杯全国高校放送コンテスト 入選

【活動記録】
研究発表部門

「生徒主体の合同研修会運営」

第70回NHK杯全国高校放送コンテスト 代表校



【活動記録】

研究発表 部門

「大幹トレーニングを体感しよう」

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト千葉県大会

【活動記録】



「#成田山表参道からのSDGs」

第71回NHK杯

SDGsテーマソング「ツバメ」

オリジナルミュージックビデオ制作 SDGs賞

岩手県高文連放送講習会

成田高等学校 放送部 活動報告

前半戦 終了です。お疲れさまでした。

10分間の休憩に入ります。

岩手県高校放送研修

校内放送研究・地域ぐるみの作品制作から考える

「伝える」ことの探究

成田高校放送部 3年
野上 翔吾

目次

前提

- ・そもそもあなたは何者？
- ・現状の放送部/委員会が抱える問題

研究・作品例

- 「生徒主体の合同研修会運営」
- 「#成田山表参道からのSDGs」
- ・2作品からみる「伝える」ことの重要性

アプローチ

- ・「今」から始める校内放送研究
- ・「伝える」スキル/こだわりとは

前提 知っていますか？

校内放送
研究発表会

前提「校内放送研究発表会」

7. 開催部門とエントリー数

- | | |
|-----------------|--------|
| (1) アナウンス部門 | 各校制限無し |
| (2) 朗読部門 | 各校制限無し |
| (3) ラジオドキュメント部門 | 各校2本以内 |
| (4) テレビドキュメント部門 | 各校2本以内 |
| (5) 創作ラジオドラマ部門 | 各校2本以内 |
| (6) 創作テレビドラマ部門 | 各校2本以内 |
| (7) 校内放送研究発表会 | 各校1本以内 |
- ただし(7)の県予選は非公開とする。

岩手県第71回NHK杯
要項より引用

研究発表とは 出場の意義・メリット

1. 目的

日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力
または技術的な創意工夫などを発表する機会を設
け、各学校が持つ諸問題を共有し、共に解決する
ことを目的とする。

第71回NHK杯
要項より引用

研究発表とは 出場の意義・メリット

2. 発表について

- (1) 発表内容は、校内放送に関するものに限り（校内放送の技術、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など）。コンテストにエントリーしている関連の内容、または部活動の内容であってはならない。今回のコンテスト参加作品の上映は、たとえ一部であっても一切認めない。なお、メーカー名、商品名の写り込みを避け、特定の商品のPRも避けること。
- (2) 本発表会は発表技術を競うものではない。問題解決の議論を重視すること。
- (3) 発表は、PowerPoint を使用したスクリーン1面のプレゼンテーションとする。発表時間は機材調整を含め8分以内とし、発表者は機器操作も含めて3人までとする。録音・録画を主体とする発表は認めない。

アナウンス・朗読
番組制作
部活動の運営など「問題解決の結論を重視」
プレゼンテーション発表技術は問わない
読みをやっていない人でも◎第71回NHK杯
要項より引用

研究発表とは 出場の意義・メリット

自校活動の活性化
問題点・改善点の発見
他校との交流

研究発表「生徒主体の合同研修会運営」



第70回NHK杯 決勝
校内放送研究発表会 代表校出場
「成田高校主催合同研修会」
についての探究

- ・「伝える」ための工夫は？
- ・「発表」のポイントは？

生徒主体の 合同研修会運営

校内放送研究発表会 成田高等学校 放送部

目次

- 1 前提
- 2 研究目的・内容
- 3 施策／研究結果
 - ① 開催前
 - ② 開催当日
 - ③ 開催後
- 4 まとめ・展望

前提

合同春合宿	時期／日程	3月下旬 / 1泊2日	~2019
このあたり	場 所	水郷小見川青少年自然の家 (千葉県香取市)	
	内 容	意見交換会・各部門別研修会・レクリエーション	
合同研修会	時期／日程	3月28-29日 / 2日間 (1日目:顧問,2日目:生徒)	2023
	場 所	成田高等学校 (千葉県成田市)	
	内 容	意見交換会・各部門別研修会	

前提

合同春合宿	時期／日程	3月下旬 / 1泊2日	~2019
このあたり	場 所	水郷小見川青少年自然の家 (千葉県香取市)	
	内 容	意見交換会・各部門別研修会・レクリエーション	
合同研修会	時期／日程	3月28-29日 / 2日間 (1日目:顧問,2日目:生徒)	2023
	場 所	成田高等学校 (千葉県成田市)	
	内 容	意見交換会・各部門別研修会	

研究目的・内容

校内放送活動活性化のための研修会を生徒が主体となって実施

生徒運営だからこそできる
「交流を深める研修会運営」を目標に

運営から得られた結果・改善点から
今後の研修会や交流の機会への展望を探る

施策 ① 開催前

開催に向けた事前準備

- ⑥ 事前案内の準備・事前調査
- 参加者集計・参加票(名札)準備
- ⑦ 当日運営のためのしおり製作
- ⑧ 意見交換会準備
- 当日の会場設営・準備

一連の準備を
生徒実行委員会でする

施策 ① 開催前

A.当日運営のためのしおり製作



- 講師紹介
- スケジュール
- 会場案内
- 観光情報 ...etc

合計32ページ
製本まですべて生徒が製作

1 施策 ① 開催前

2

3 ① 10:35-10:45 開式行事 @3F 視聴覚教室・34・35特別教室
② 10:45-11:30 意見交換会 @3F 視聴覚教室・34・35特別教室
③ 11:30-12:15 昼休み (飲食は34・35特別教室・高1A教室・高1B教室・高1C教室・高1D教室)
④ 12:15-12:50 番組制作講座① [NHK千葉放送局] @3F 視聴覚教室
⑤ 12:50-13:00 アナウンス講座 @3F 視聴覚教室
⑥ 13:00-13:15 放送講座 @3F 視聴覚教室

4

1 施策 ① 開催前

2 B.事前案内の準備・事前調査

3 ① 参加者へのアンケート
② 各講座の先生への質問
③ 放送活動の悩み ...etc

4 ▶ 各講座・意見交換会で活用

1 施策 ① 開催前

2 C.意見交換会準備

3 ① 【課題】
② 生徒同士の交流を深める機会にする
③ 初対面の人と簡単に打ち解けられるようにする
④ 時間枠：最大45分
⑤ 大人数の参加者をまとめられる運営体制

4 ▶ 生徒実行委員会で何度も協議

1 施策 ② 開催当日

2 I.意見交換会

3 ① 議長・副議長が全体進行
② 5~7人班に分け班1人生徒実行委員を配置し班内進行

3 ① アイスブレイク：サイコロトーク (10分)
② 「各校での活動内容」 (10分)
③ 「放送活動を広めるには何をすべきか」 (10分)
④ フリートーク (15分)

4

1 施策 ② 開催当日

2 II.各講座

3 ① アナウンス 安田 知博 先生
② 朗読 田川 孝二 先生
③ 番組制作 NHK千葉放送局 多くの番組を撮影したベテランカメラマン 伊藤 敏朗 先生

4

1 施策 ② 開催当日

2 III.その他運営

3 ① 受付・会場案内・会場整理
② 開会行事・閉会行事
③ 各校の参加費徴収・集計
④ 昼食時ラジオ放送・作品上映

4

1 開催結果 ③ 開催後

2

3 ① 参加校数 18校 (千葉県・茨城県からの参加)
② 参加人数 157名

4

1 開催結果 ③ 開催後

2 事後アンケートの結果

3 ① 他校生徒と交流を深められたか？
② あまりそう思わない 7.8%
③ ややそう思う 25.5%
④ そう思う 66.7%
⑤ そう思わない 0%
n=51(研修会参加者)

4 ① 他校の生徒さんと交流できてよかった
② 他校の活動内容を知ることができた
③ 放送活動のモチベーションになった

1 開催結果 ③ 開催後

2 運営側の感想や反省点

3 ① 意見交換会の時間が足りなかった
② 当日の連絡の取り合い・意思伝達が難しかった
③ 運営側としても色々な学校と交流ができてよかった

4

1 まとめ・展望

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

- 各校生徒の交流を深められ
校内放送活動の活性化に繋がった
- 当日の運営の安定性は欠けていた
準備や打ち合わせの徹底や
当日の動きの綿密な把握など改善をする

1

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

ご清聴ありがとうございました

生徒主体の合同研修会運営
校内放送研究発表会 成田高等学校 放送部

1 アプローチ「伝える」工夫

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

生徒主体の
合同研修会運営
校内放送研究発表会 成田高等学校 放送部

・「伝える」ための工夫は？

事前準備
開催時のデータ収集
「交流を深める」要因

第22回成田高等学校放送部主催
合同春合宿

令和7年3月27日(木)
28日(金)
千葉県立小見川少年自然の家

1 制作作品「#成田山表参道からのSDGs」

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

第70回NHK杯 決勝
SDGs賞受賞
地域に隠れるSDGsを
ダンスにさせる作品

・「伝える」ための工夫は？
・「表現」のポイント

1 アプローチ「伝える」工夫

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

・「伝える」ための工夫は？

地域との連携性
行動・実践
制作裏話

1 アプローチ あなたも「伝える」に挑戦

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

「伝えること」は
どこからでも
始められる

1 アプローチ あなたも「伝える」に挑戦

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

「研究発表」は
どこからでも
始められる

1 アプローチ あなたも「伝える」に挑戦

2

3₋₁

3₋₂

3₋₃

4

現状の問題点を探す
実験・行動の方法を探す
「深み」をもたせる
さらなる探求点を見つける
まとめる
発表する

アプローチ 声で「伝える」ポイント

はっきりとした声
身振り・手振り
他にも…

**アナウンス・朗読
とは違う技術**

結局「伝える」とは何か？

**伝えること
作ること
表現を続けよう。**



最後まで ご清聴

ありがとうございました。

岩手にお呼び頂き 感謝申し上げます。

成田高等学校 放送部でした。